

平成18年度当初予算【水道事業会計・特別会計】

水道事業会計

平成18年度水道事業会計予算は、水需要の横ばい傾向の中で、水道料金収入の伸びは期待できませんが、安全で良質な水道水を安定給水するために、老朽化した施設の更新や維持管理などに努めていきます。また、「改訂水道事業経営改善計画」に基づき、浄水場の統合を図り、給水の一元化など、効率的な経営に徹した事業運営を進めていきます。

収益的収支の収入では、水道料金の伸び悩みなどにより、前年度に比べ6,842万円減の14億5,390万円を見込みました。

また支出は、鉛給水管取替や漏水対策などの事業を進める一方、窓口業務委託拡大などに伴う職員数見直しや経費縮減に努め、前年度に比べ5,626万円減の15億1,850万円を計上しました。

資本的収支では、浄水場の統合や老朽配水管対策などにより、支出が前年度より5,326万円増の4億4,820万円を計上し、収入では、工事負担金の減額などにより、前年度より1,571万円減の1億260万円を見込みました。

■**収益的収支**■ 経営活動に伴う予算で、収入は水道料金を主なものとし、支出は受水費、減価償却費、人件費、修繕費などが含まれます。

区分	予算額(税込)	対前年度比
収益的収入	14億5,390万円	-4.49%
収益的支出	15億1,850万円	-3.57%

■**資本的収支**■ 施設の建設・改良などに伴う予算で、企業債、工事負担金などを収入とし、建設・改良や企業債償還金などの支出財源です。

区分	予算額(税込)	対前年度比
資本的収入	1億260万円	-13.28%
資本的支出	4億4,820万円	13.48%

■主な事業■

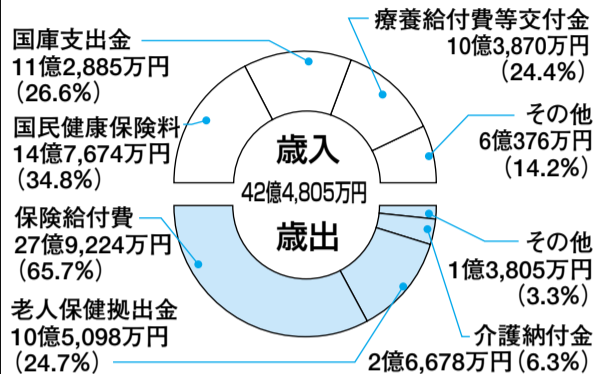
- (継) 老朽配水管の布設替
- (新) 浄水場の統合による給水の一元化
- (継) 配水管の管路診断

国民健康保険事業特別会計

国民健康保険は、国民皆保険制度に基づき、職場の健康保険などに入れない方が加入する医療保険制度です。

予算総額は、前年度比2.2%増の42億4,805万円となりました。

増額となった主な理由は、老人医療費の増加による拠出金の増額や、保健給付費の増加などによるものです。

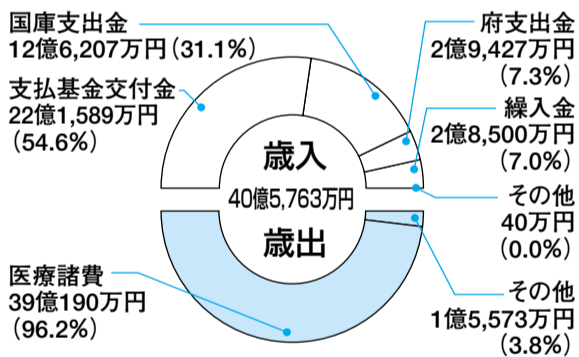


老人保健医療特別会計

老人保健医療特別会計は、老人保健法第25条に該当する高齢者に医療費の給付を行うためのものです。

予算総額は、前年度比14.1%増の40億5,763万円となりました。主な要因は、医療諸費、取り分け医療給付費の増加によるものです。

歳出の92.8%を占める医療給付費は、受給者数年間平均4,600人、年間受診件数11万4,700件、年間1人あたり医療費81万8,900円を見込み算出しています。

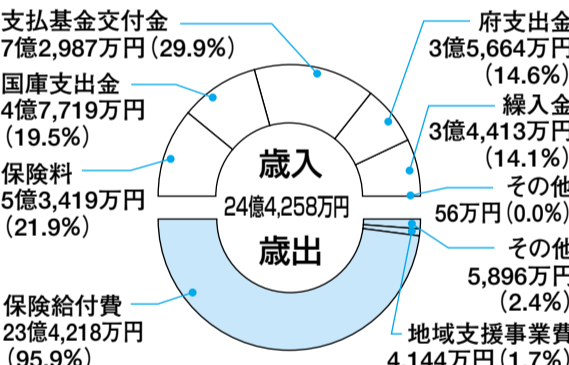


介護保険事業特別会計

介護保険事業特別会計の予算総額は、前年度比15.9%増の24億4,258万円となりました。

これは、介護サービス利用者数の増加などによる保険給付費の増加や、地域包括支援センターの設置を含め、高齢者の介護予防などを行う地域支援事業費の創設によるものです。

保険給付費については、第3期介護保険事業計画に基づいて算出しています。

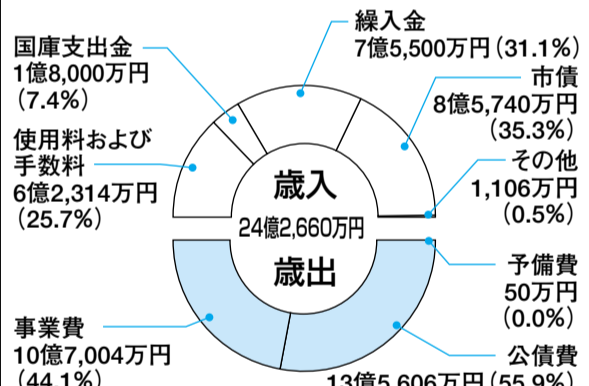


下水道事業特別会計

下水道事業特別会計の予算総額は、対前年度比2.0%減の24億2,660万円となりました。

雨水事業では、阪急電鉄京都線以東の石田川排水区における浸水被害を防除する「石田川2号雨水幹線」を3か年かけて築造する工事を今年度から行います。

汚水事業では、下水道管渠の補修など維持管理に努めていきます。



予算についてのお問い合わせ

一般会計は財政課(内線243)、水道事業会計は営業課(内線810)、下水道事業特別会計は下水道課(内線831)
国民健康保険事業特別会計は保険年金課(内線211)、老人保健医療特別会計は健康推進課(内線337)
介護保険事業特別会計は障害者高齢者支援課(内線371)

市民考古学講座「くらしと考古学～ふだんの生活の中に歴史発見～」



私たちの先人たちは、日々の暮らしや出来事を、紙に記す記録として、口承伝説として、そして大地に刻み込む遺跡として残しました。

▲生きた考古学が学べます。(昨年度の様子) 私たちの身近な生活に考古学の目的・方法・成果を重ね合わせ、年月をかけて積み上げられた歴史を掘り起こし、その経験と知恵に学びます。

- 開催時間/見学会を除き午後2時～4時
- 場所/文化資料館ほか
- 募集人数/40人程度
- 参加費/1,920円(資料代)のほか、見学会の保険料および交通費の実費を負担していただきます。
- 申込み/4月15日(土)(消印有効)までに、氏名、住所、電話番号を記入の上、往復ハガキで(財)向日市埋蔵文化財センターへ。

■開催日程

日程	内容
5月21日(日)	体験会「『災い』の場所・歴史・文化―ハザードマップ(災害履歴地図)を作って読もう―」
5月28日(日)	見学会「ようこそ『自然災害考古学野外博物館へ―災いの景観・遺跡・歴史フィールドワーク―』」
6月25日(日)	講座「銭貨と経済の歴史1―さわってみよう、都のおかね―」
7月23日(日)	講座「銭貨と経済の歴史2―都のおかね―」
8月6日(日)	講座「近畿地方の弥生ムラからみた乙訓―大集落比較論―」
9月24日(日)	見学会「唐古・鍵遺跡を観る・語る」(奈良田原本町遺跡見学会、弥生資料館現地講座)
10月22日(日)	講座「カミ観念の移り変わり―古墳から社寺へ―」
11月26日(日)	見学会「古代の精神世界―大原野神の社寺見学―」(大原野神社・勝持寺・願徳寺見学会、住職講話)
12月24日(日)	講座「都のモノの流通1―都城の『市』と木簡―」
1月28日(日)	体験会「都のモノの流通2―『荷札木簡』をつくろう―」
2月18日(日)	講座「トイレと考古学―衛生考古学を学ぼう―」
2月25日(日)	見学会「『こえたんご』道を歩く―都大路から西国街道へ―」

※「くらしと考古学」をテーマに、外部講師を招き前期・後期に各1回、講演会(無料)を開催する予定です。

(財)向日市埋蔵文化財センター 〒617-0004 鶏冠井町上古23 ☎931-3841